



# 区長 タウンミーティング

誰にもやさしいまちづくり  
入口にはベンチ、店舗の中には休憩スペースを備えるなど、地域の人たちが気軽に利用できて、気持ちが「ほっ」とする空間づくり。そんな取り組みを始めている商店街があります。今月は、大学生が企画し、商店街が協力して実現した「ほっとひといき運動」をテーマに、運動を進めている方々と区長が対談した「区長タウンミーティング」の様子を紹介します。

林 まず、ベンチの利用については、一日当たりおおむね五〜十人程度で、利用されている方はお年寄りをはじめ、買い物帰りの方やベビーカーを使っている方などさまざまです。一方、店舗内にある休



林 優さん  
株式会社富士メガネ新琴似店 店長

「ほっ」とい空間づくりの  
司会 初めに「ほっとひといき運動」の現状について教えてください



北野 靖尋  
北区長

木村(瑛) 現時点での協力店舗は五カ所あります。大型店舗は、もともと気軽に入って行ける雰囲気がありますので利用している方は多いのですが、他の店舗については、まだそれほど多くは利用されていないと思います。地域の中では「この運動は知っているけれど、利用したことはない」という声が伝わってきています。こうした関心をどのように利用まで結び付けていくかが、これからの課題であると考えています。



木村 瑛さん  
北海道教育大学札幌校4年生

憩スペースは、誰でも気軽に利用できるような雑誌やテレビを備えたり、ポスターを張ったりしてPRを行いました。その結果、店舗内に入ることへの抵抗感が少なくなった印象を受けます。利用者は確実に増えていると思います。

## 「ほっとひといき運動」とは、

- 外出時に誰もが気軽に、安心して利用できる休憩場所をつくり、お店や街の人々がふれあうことができる「人にやさしいまちづくり」を目指した運動です。
- 企画は北海道教育大学の学生グループ。新琴似中央商店街と協力して、平成18年3月から実施しています。
- 同商店街の協力店舗にベンチや休憩コーナーを設け、気軽にひと休みしてもらえるような環境をつくっています。

※協力店舗については、北区ホームページに掲載します。



店舗入口にある「ほっとひといきベンチ」



店舗内にある「ほっとひといきコーナー」

※写真の店舗は、富士メガネ新琴似店（北区新琴似8-10）

